

福祉教育センター



福祉教育センター

実際の福祉現場を体験的に理解し、福祉の理論を実践に活かす力をつけることは福祉教育の中心的な課題です。福祉教育センター（以下、センター）は、福祉の国家資格を修得するにあたって必要となる演習および実習、国家試験受験、ボランティア活動などについての支援を通じて、福祉を学ぶ上で必要な環境を用意し、福祉を実践する実力の育成をめざします。

※福祉や実習に関する質問や資格の修得、ボランティア活動等に関することは、気軽に福祉教育センター窓口までお問い合わせください。

I 実習について

福祉の学習は、理論から演習へ、さらに演習から現場実習へと進みます。福祉総合学部福祉総合学科では、各コースにおいて社会福祉士、精神保健福祉士、保育士および幼稚園教諭などの資格修得が可能ですが、これらの資格養成の中心は実習であり、どの資格においても必修科目となっています。センターでは、この実習をより充実した実りの多い体験となるよう様々な面からフォローし、事前・事後および実習中の学習を支援します。また、実習教育を円滑に進めるために次のような活動を行っています。

- ・実習先との連絡調整、配属のコーディネート、情報提供
- ・実習オリエンテーション、実習計画、個別相談
- ・実習教育に関する教育補助、情報収集および研究・調査

※実習の実際については、実習オリエンテーションを開催しますので、必ず参加してください。

II 国家試験について

社会福祉士、精神保健福祉士など国家試験受験資格が得られる資格は、大学卒業と同時に国家試験を受験することとなります。この国家試験突破のためには、モチベーション（動機）と持続的な受験勉強（努力）が必要となります。センターでは、次のような学習の支援を行います。

- ・受験対策講座、模擬試験の連携による実力アップ
- ・自主学習グループ、個別学習の支援、成績管理システムによるモチベーションアップ
- ・国家試験に関する情報分析と個別アドバイス

※国家試験受験の過程では、学内・外で主催する模擬試験受験や国家試験ガイダンスへの参加が必要となります。

III ボランティア活動など

施設や地域福祉の実際を体験し理解することは福祉の本質を知る上で、また、福祉の理論を学ぶ上でも大切なものとなります。センターでは、地域と連携したボランティア活動や施設行事への参加の斡旋とコーディネートを通じて、福祉体験学習の支援を行います。

IV その他

以上のほか、福祉教育を充実するために次のような活動を行っています。

- ・福祉教育に関する研究・調査
- ・実習意見交換会等の主催など